

# 宮崎地本だより



発行元  
自衛隊  
宮崎地方協力本部

編集  
広報渉外室  
宮崎県宮崎市東大淀  
2丁目1-39



自衛隊宮崎地方協力本部長 1等空佐 植村 茂己

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は自衛隊宮崎地方協力本部における募集、就職の援助、予備自衛官の雇用等に対しましてのご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、わが国を取り巻く安全保障環境は、この十年間で一層厳しさを増しています。北朝鮮による核実験・弾道ミサイル発射は、わが国はもとより地域・国際社会の安全に対する重大かつ差し迫った脅威であります。

また中国は既存の国際秩序とは相容れない独自の主張に基づき自らの一方的、かつ妥協なく実現しようとする姿勢を継続的に示しており、情勢は冷戦終結以降、最も厳しいと認識しております。国内においては、昨年七月に発生した九州北部豪雨をはじめとする各種災害派遣等における自衛隊に対する国民の期待は大きく、今後の各種事態等の的確な対応を求められるものと認識しております。

このような状況の中、自衛隊はいついかなる事態にも対応すべく国民の皆様のご信頼・期待に応えるため日々訓練を重ね部隊の精強화를図っています。

一方で宮崎県では、若者の県外流出や離職率が高いこと、また人材不足が重要な課題となっております。

自衛隊宮崎地方協力本部としても、自衛官の若年定年制及び任期制の制度が本課題解決の一助となる可能性があることを宮崎県の方々にはしっかりと伝え、自衛官募集や就職援助活動を通じて宮崎県の発展に寄与できるよう努力していきます。

年頭にあたり、本年も昨年同様のご高配意を賜りますとともに、皆様のご健勝とご発展を心より祈念いたします。

宮崎県防衛協会会長 宮崎県知事 河野 俊嗣



謹んで新年のお慶び申し上げます。宮崎地方協力本部の皆様には、日頃から県政の推進及び防衛協会の運営につきまして温かい御支援、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、我が国は、少子・高齢化の急速な進展とともに、既に本格的な人口減少の局面に入っており、地方、とりわけ中山間地域の活力低下など、地域の持続的な社会経済活動への影響が懸念されております。

この喫緊の課題である人口減少に歯止めをかけるため、本県におきましては、雇用の創出や若者の流出抑制、UI-Jターンの促進、子育て支援の充実・強化など、地方創生に資する取り組みを全力で進めてまいります。

このような中、一昨年の熊本地震や昨年七月の九州北部豪雨など、近年は自然災害が頻発するとともに激甚化しております。本県におきましても、度重なる台風により突風・浸水被害が発生したほか、昨年十月には六年ぶりに新燃岳が噴火するなど、自然災害の恐ろしさと備えの重要性について改めて認識させられたところであります。

また、本県では、大規模かつ深刻な被害をもたらす可能性のある南海トラフ地震の発生も危惧されることから、自衛隊の皆様にも御参加いただきながら、万が一の災害に迅速、的確に対応できるように訓練を積み重ねてまいります。

今後とも様々な危機事象への対応力強化に全力で取り組む中で、自衛隊の皆様との連携・協力関係の強化に努めるとともに、自衛官募集事務にも協力してまいりますので、引き続き、県民の安全・安心にお力添えいただきますようお願いいたします。

新しい年が、皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう、心からお祈り申し上げます、新年の御挨拶といたします。

自衛隊宮崎県隊友会 会長 三浦 秀明



新年明けましておめでとうございます。宮崎地方協力本部の皆様には、日頃から大変お世話になっており、感謝申し上げます。

我が国周辺では、北朝鮮により繰り返し行われる核実験や弾道ミサイルの発射は我が国はもとより国際社会に対する重大な脅威となっております。

また、中国は東シナ海への継続的かつ活発な海軍活動や西太平洋への進出、空軍機の我が国への接近は自衛隊機の緊急発進の数を過去最高にしている所です。

更に、南シナ海への軍派遣や岩礁を埋め立てるの滑走路建設など我が国を取り巻く安全保障上の懸念が広まっており、今後、更に多種多様な任務が付与されることとなりますが、地道な訓練を積み、自信を持って任務遂行していただきたいと思っております。

自衛隊の源は「人」であります。その基本となる人材を選び、入隊させている地方協力本部の役目は一層重要なものになって来ております。

隊友会も公益社団法人となり、引き続き「国民と自衛隊のかけ橋」役に努めてまいります。

地方協力本部の皆様も厳しい募集環境のなか大変でしょうが植村本部長を核として、ますます一致団結して活躍されるとともに、皆様のご健勝・ご多幸を祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

# 謹賀新年

日南海岸国定公園  
堀切峠



### 宮崎県自衛隊家族会

会長 柳田 晃

ております。

今年には宮崎県家族会（父兄会）の創立六十周年に当たり、これは全国組織の約二十年前に発足した事になります。創設当時、自衛隊は実に厳しい辛辣な逆風を受けておりました。それに対し、隊員たる子弟が任務への情熱と充実感を持てる様に盾となるために立ち上がった支援団体と伺っております。現在の家族会の基本的な理念も当時と全く同じであります。更に強い意識を持って「自衛隊と最も近い組織」として機能したいと思っております。又、昨年一月「家族支援」に関する協定が、都城・えびの両駐屯地及び宮崎地本並びに宮崎県家族会間で締結されました。この連携につきましては実行力のあるものに致したく努力をして参りたいと強く認識しております。結びに皆様にとつて今年が幸多き一年となります様ご祈念申し上げ新年の挨拶といたします。

### 宮崎県自衛官募集相談員会

会長 竹下 幸一

新年あけましておめでとうございませう。皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。宮崎地方協力本部も創設以来、長い歴史の中で歴代本部長を始め、その間に在籍された隊員の皆様の英知と努力によりまして、輝かしい功績に敬意を表します。自衛隊の任務も安全保障法案の成立により多種多様な任務となっております。安全保障の環境は、北朝鮮の核・ミサイル開発で重大な緊迫した状況で、国民の不安は一

段と高まっています。その抑止力は、日米同盟を基軸とした防衛力の充実こそが抑止力となり、国の平和と安全が保たれるものと認識しております。

防衛予算が五兆円を超え六年連続増額されていることは、明るい材料であります。国の守りは有能な人材の確保であります。その募集が近年厳しくなっています。私共募集相談員は、広報官と連携協力して一人でも多く有能な人材を募集しなければなりません。皆様の募集対象者情報の提供をよろしくお願い申し上げます。結びに、宮崎地方協力本部の益々の発展を祈念しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

### 自衛隊宮崎地方協力本部OB会

会長 大岐 継寛



あけましておめでとうございませう。自衛隊宮崎地方協力本部の皆様におかれましては、ご家族お揃いで希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は我々OB会活動に、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、近年の防衛環境は、北朝鮮の度重なるミサイル本土上空通過・日本海落下・核実験の強行、中国の相変わらずの東シナ海・日本海での強硬な活動等、予断を許さない状況が継続しております。自衛隊の活動も、より困難で厳しく成らざるを得ません。

この様な状況の下、次の「防衛計画の大綱」「中期防衛力整備計画」の検討が始まりますが、国民が安心して生活できる国防計画に成る事を切望しております。協力本部活動では、少子化が進む中での募集、景気回復の実感が乏しい宮崎での援護、いずれも厳しい環境の中、皆様には、募集・援護・広報等の業務に任務必遂を期して努力されることに敬意を表します。我々OB会も会勢を充実させ、微力ではありますが一層の協力が出来るよう努力いたします。寒さの厳しい折ではありますが、本部長を核心に一層のご活躍・ご発展・ご健康をお祈り申し上げます。

### 留守家族支援協定締結式

平成二九年一月二六日（日）、都城駐屯地で宮崎県自衛隊家族会会長、都城駐屯地司令、えびの駐屯地司令、宮崎地方協力本部長による大規模災害等における派遣隊員の留守家族に関する協定締結式が行い、災害派遣に赴く隊員の家族支援態勢がより強固なものとなりました。



### インターンシップ支援

日向地域事務所は、十一月一日（水）一三日（金）に日向工業高校二年生三名、延岡出張所は十月二四日（火）二五日（水）に延岡学園二年生七名に対して、航空自衛隊新田原基地において実施されたインターンシップの支援を行いました。参加した学生は、航空自衛隊の説明を聞いた後、訓練体験や基地見学を行いました。基地見学では、初めて見る自衛隊の職場に興味をもって、熱心に見学をしていました。



### 隊内体験学習

一月七日（火）、えびの駐屯地において延岡看護専門学校（男子四名、女子三名）が隊内体験学習を行いました。

学習では、精神教育、基本教練及び体力検定などが実施され、生徒達はそれぞれの訓練において、協調性や団結の精神等を学んだようでした。

そして、学習に対する感想を寄せていただきました。感想を頂きありがとうございます。

学習項目	感想
精神教育	自衛隊のイメージは災害派遣しかなかったが、説明やDVDを鑑賞し、世界中で多くの仕事をしていることに驚いた。
基本教練	団結・規律・士気が大事なことだとわかった。
衛生救護	整列や点呼などの訓練で協調性を学ぶことができた。
体力検定	自衛隊ならではの処置の仕方があり、看護師の手際一つで命に関わると聞き、この部分は私たち医療現場も変わらないと感じた。
総合訓練	体をほぐす運動がとてもきつく感じた。
その他	「チームワーク」や「団結」が大事だと強く感じた。
その他	隊員の方が優しく声をかけてくれありがたかった。

### 航空機体験搭乗

二月二日(土)、新田原エアフェスタ事前公開と同時に募集対象者等(参加者二九名)に対して体験搭乗が行われました。体験搭乗者参加者は、事前に航空機の機動飛行等を見学し飛行機搭乗への期待を膨らませて、受付場所の空輸ターミナルに集合しました。



ターミナルで搭乗にあたっての注意事項等の説明を受けた後、いよいよ搭乗機であるC-119に乗り込みました。座席に座りシートベルトをロックする時、自動車と違い普段見慣れない形のシートベルトに戸惑いながらも、添乗した隊員にロックの仕方を教えてもらい離陸に備えました。

飛行時間は約二五分間でしたが、日向市上空から椎葉村上空にかけて飛行し、搭乗者はそれぞれ窓から風景を眺めたりと、体験搭乗を満喫していました。体験搭乗を終えた参加者は、「普段乗れない輸送機に乗れ良かった。」「揺れると思うっていましたがそうでもなく、快適な搭乗でした。」との感想が聞かれました。

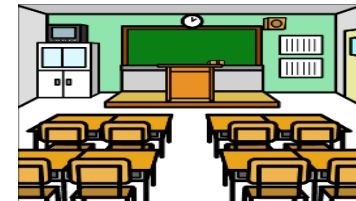


### 宮商マーケットへ参加しました

二月九日(土)・十日(日)、県立宮崎商業高校で行われた「宮商マーケット」に参加し、広報ブースを設置するとともに、自衛隊車両を展示しました。会場の各所に様々なブースが立ち並び、ミニ制服試着のコーナーでは来場した子供たちから大人まで試着を楽しむとともに、1/2トラックの前で記念撮影を行うなど大変な盛況ぶりでした。



また、ブースに来た学生は、宮崎募集案内所員の自衛隊に関する説明に熱心に耳を傾けていました。参加期間中、宮崎商業高校の一年生のミニ制服試着のお手伝いにより、ブースへ足を運ばれた来場者からとても好印象でした。



### 合同企業説明会

十月十一日(水)、宮崎市のJA・AZ Mホールにおいて、一般財団法人自衛隊援護協会福岡支部との共催による平成二九年度第二回任期制隊員合同企業説明会を実施しました。第二回となる今回は、県内の企業二二社が陸上及び航空自衛隊の隊員二一名に對して自社の業務や処遇等の説明を行いました。



よる実施要領の説明の後、午前及び午後の二回にわたり、希望する企業ブースで仕事内容や処遇、必要とされる資格等の説明に熱心に耳を傾けるとともに、自己PRに努めていました。企業においても自衛隊で身につけた規律や経験及び協調性は魅力的な人材として高く評価されており、企業からも面談したい隊員を逆指名するなど、終始活気あふれる説明会になりました。



### 宮崎テクノフェア

一月二二日(水)・二三(木)、宮崎県体育館において開催された「第二四回みやざきテクノフェア」において来場者に対し自衛隊の紹介を行ったほか、屋外では広報ブースを設け九州北部豪雨での災害活動の写真パネルと1/2トラックの展示、ミニ制服の試着を実施しました。



会場には四九社の企業が説明ブースを立ち上げ、来場者数一万一千名(主催者発表)の中、宮崎地本の館内の紹介では多数の学生に對して、募集課長が入隊した隊員の動画を活用して自衛官候補生等の魅力や自衛隊の活動に関する説明を行い、学生は興味津々に耳を傾けていました。また、屋外の展示では、広報官が災害派遣パネルの前で、訪れた学生に活動状況の説明を行いました。



# 新田原エアフェスタ



一二月三日(日)、航空自衛隊新田原基地で実施された「新田原エアフェスタ二〇一七」において、宮崎地本は海上自衛隊佐世保地方総監部広報「ブルーマリン」と共同で募集広報を行いました。

当日は早朝から、小雨模様でしたが徐々に回復し、予定通り空のイベントが始まりました。

会場には五万三千人(主催者発表)が来場し、紹介ブースへは千二百人が訪れました。

ブースへ来た来場者は、自衛隊キャラクター「カケルくん」と一緒に「ブルーインパルス」のポスターの前で記念撮影を楽しんでいました。



また、自衛隊に興味のある学生に対して募集課員が親切・熱心に説明し、学生からは、「自衛隊の活動や、職種がよく分かりました。」との感想が聞かれました。

会場における「特別ゲスト来場」というイベントでは「カケルくん」と「みやざき犬」の共演という夢のコラボレーションが実現しました。



みやざき使用許可第280042号

会場では盛大な拍手とともに、この光景を写真に収める来場者で溢れていました。

## 平成二九年度 宮崎地方協力本部長感謝状受賞者

### 一般功勞

- 市民と自衛隊のふれあいの会 柳田 晃 様
- (宮崎県自衛隊家族会会長)
- 門脇 功郎 様
- (日向市役所 総務部長)
- 勝吉 峰子 様
- (宮崎地本OB会世話人)
- 吉野 和幸 様
- (宮崎地本OB会理事)
- 黒木 順子 様
- (木城町家族会女性部長)
- 延岡市 様
- 宮崎県立高千穂高校 様
- 宮崎県立都城工業高校 様
- 吉元 裕次郎 様
- (日南市役所 健康増進課)
- 永友 幸子 様
- (募集相談員会新田原支部員)
- 篠原 昌富 様
- (募集相談員会小林支部員)
- 鈴木 胸孝 様
- (募集相談員会都城支部長)

### 就職援護功勞賞

- 清本鐵工株式会社 様
- 有限会社 旭ケミカル 様
- 株式会社 マスコ 様
- 株式会社 九南 様
- えびの市農業協同組合 様
- 予備自衛官等雇用功勞賞
- 新興不動産 有限会社 様
- 有限会社 藤商 様
- 宮崎県高等水産研究所 様

日頃の協力感謝いたします。

## 護衛艦「ひゅうが」が日向市に入港しました

一月二二日(水)、日向市細島港へ五年ぶりに護衛艦「ひゅうが」が入港しました。

翌二三日には艦艇広報が行われ、宮崎県の旧国名である「ひゅうが」が入港という事で、岸壁には見学者の長い列ができていました。



艦艇見学には、一七三二名が来艦し、大きな船体を見上げながら、乗艦し、さらに巨大な格納庫や広い飛行甲板に驚いていました。

格納庫と飛行甲板にはSH-60K対潜ヘリコプタが搭載され、多くの見学者が写真に収めていました。

見学者からは、「この艦の重さはどれくらいですか。」「ヘリコプタは何機搭載できるのですか。」「との質問があり乗員が丁寧に説明を行っていました。

広報ブースでは、ミニ制服の試着コーナーでお客さんに楽しんでいただきました。

二四日には早朝にもかかわらず、日向広域自衛艦艇協力会の会員や地元の皆様が岸壁へ見送りに訪れ、別の汽笛を吹鳴しながら港を出た「ひゅうが」の船影が見えなくなるまで見送りました。



### 昇任者紹介

- 准陸尉へ 橋口 修一郎
- 総務課 久島 和広
- 陸曹長へ
- 総務課

### 臨時勤務者紹介

- 日向地域事務所 1等空曹 石田 透
- H 29.11.20 ~ H 30.2.28 (第5航空団)

### 任期付採用職員紹介

- 援護課予備自衛官係 防衛事務官 森山 秀子
- H 30.1.1 ~

### 永年勤続表彰

- 日向地域事務所 1等空曹 小玉 実
- 広報渉外室 1等海曹 植田 謙二
- 宮崎募集案内所 1等海曹 竹下 健一



おめでとうございます